

歌とピアノのための 歌曲伴奏法講座

～その奥深い世界を探る～

2025.
11/29(土)

13:30～17:00[開場 13:00]

受講料 ◆ 聴講のみ3,300円(税込)

[定員 50名]

◆ レッスンと聴講11,000円(税込)

[定員 4組(先着順)]

会場 ◆ 文京キャンパス

学園創立50周年記念館ホール(予定)

内容 皆さんは伴奏という言葉にどういうイメージをお持ちでしょうか。伴奏なんて音も少ないし、歌の邪魔にならないように弱く弾けばいいので楽勝!と考えている人もいます。しかし、アンサンブルの究極の形態としての伴奏は幅広く、奥の深い役割を担っているのです。歌曲演奏の60%～70%はピアニストにかかっているといっても過言ではありません。それほど密接な関係にありながら、しばしばお互いの意識が噛み合わない状況が見受けられます。この講座では、最初にレジュメに添っていくつかの「約束事」を確認し、演奏を交えながらお話を進めていきます。きっと新たな発見があることでしょう。後半は、公開レッスン形式で進めていきます。「歌とピアノ」をワンセットとしてレッスンをを行います。ピアノの方も是非「歌詞の内容」を理解し表現力を高めるため、歌曲演奏に強い参加意識を持っていただきたいと思います。

※楽譜・対訳等は当日配布いたします。レッスンを希望の方は、歌とピアノのペアでお申込みください(先着順)。曲目は、イタリア古典歌曲・ドイツ歌曲・フランス歌曲・日本歌曲より、1～2曲選んでください。楽譜を10月末日必着にて送付してください。

講師紹介 おおば しゅんいち 大場 俊一 (ピアニスト)

1965年 東京藝術大学音楽学部楽理科卒業 在学中安宅賞受賞
1968年 旧西ドイツ デトモルト音楽大学留学。ザルツブルグ夏期講座で、師ヴァイセンボルの助手を務めたほか、各種音楽祭・演奏会で幅広く活躍した。
1983年20世紀最高のソプラノ歌手エリーザベト・シュヴァルツコップフのマスタークラスで伴奏と通訳を務めた。
ピアノをクラウス・シルデ、野呂愛子、小林道夫、歌曲伴奏法及び室内楽をギンター・ヴァイセンボルの各氏に師事。
ソロリサイタルの他に、著名な演奏家との共演が多く、その音楽に対する豊かな感受性と鋭い分析力を踏まえた緻密な演奏は絶賛されている。
長年にわたり、東京藝術大学、埼玉大学教育学部、東邦音楽大学大学院で後進の指導にあたった。「日本音楽コンクール」はじめ、多数のコンクールの審査員を務めている。
2011～2013年5回にわたりモーツァルトピアノソナタ全曲演奏会を行った。
2019～2022年「ピアニストから見たドイツリートの魅力」と題して、プレート付きの連続演奏会を6回にわたり開催した。
最近各地で伴奏法講座を開催し、豊富な経験に基づいた実践的な指導は好評を博している。
現在 埼玉大学名誉教授 東京藝術大学同声会栃木支部顧問 栃木日独協会会員。

上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ
お申し込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 TEL. 03-3946-9667(代) FAX. 03-3946-2455 <https://www.toho-music.ac.jp/>

お申し込みは
こちらから

